

事業の実施評価指標

ビジョン達成のプロセス(具体的取組)		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
		今年度の取組 (年度末目標)	指標	今年度の取組 (年度末目標)	指標	今年度の取組 (年度末目標)	指標	今年度の取組 (年度末目標)	指標	今年度の取組 (年度末目標)	指標
I 個人 の 能力 向上	①職位段階に応じた体系的・計画的な研修体制を整備する。	a. 各職位(キャリア)に応じて必要な能力の向上のため研修体系を作成する。	進捗 ①各職位に応じて必要な能力、業務に関する知識を明らかにする。 ②職位に応じた研修体系を作成する。	進捗 ・7月に研修体系を完成させる。 成果 ・職位ごとに必要な能力の一覧表が完成している。 ・4月総会に提案できるように研修体系の素案が作成できている。	進捗 ①4月総会で職位ごとの能力一覧表が決定、研修体系の素案を提案説明 ②8月に研修体系の概要ができていく(会員に問いかけながら教育センターとも協議する) ③秋研究大会で研修体系が決定 成果 ・研修体系が8割以上に理解できている(研究大会時アンケート)	進捗 ・研修体系の実践をしながら検証する。 成果 ・研修体系に沿った人材開発センター研修の受講率7割以上(目標一人1講座以上) ・受講して能力がアップしたと感じる割合6割以上(満足度アンケート)	進捗 ・前年度の検証を踏まえて、研修体系の見直しをする。 成果 ・研修体系に沿った人材開発センター研修の受講率8割以上(目標一人1講座以上) ・受講して能力がアップしたと感じる割合7割以上(満足度アンケート)	進捗 ・次のビジョンの改訂に向けた能力向上の分野で主要な課題が整理できている。 成果 ・研修体系を見直し31年度からはじまる教育センターの研修へ反映させる。	進捗 ・研修体系を見直し31年度からはじまる教育センターの研修へ反映させる。 成果 ・研修体系に沿った人材開発センター研修の受講率9割以上 ・受講して能力がアップしたと感じる割合7割以上 ・自分が目標とする職位の能力が身についたと感じる7割以上(アンケート)	進捗 ・次のビジョンの新しい研修体系ができていく 成果 ・研修体系に沿った人材開発センター研修の受講率9割以上 ・受講して能力がアップしたと感じる割合7割以上 ・自分が目標とする職位の能力が身についたと感じる7割以上(アンケート)	
		b. 新規採用者や転入者に対する基礎的知識・能力開発プログラム(初任者研修計画)を作成する。	進捗 (資料の収集などある程度の準備が必要と思われる) 成果 ・個々のキャリアに応じた必要な能力を明らかにする。 ②初任者研修計画を作成する。	進捗 ①新規採用者や転入者を想定して個々のキャリアに応じた必要な能力を明らかにする。 ②初任者研修計画を作成する。 成果 ・初任者研修計画を各関係機関と協議し、担当の振り分けができている ・個々のキャリアに応じた必要な能力や研修内容が整理され、一覧表ができていく ・次年度から実施できるよう初任者計画が作成され、実施の準備ができていく	進捗 ・初任者研修計画を実践する。 成果 ・実践する中での課題が整理され、次年度に向けて改善ができている ・新規採用者や転入者に研修のアンケートを実施し、有効性(満足度)が6割以上	進捗 ・実践する中での課題が整理され、次年度に向けて改善ができている 成果 ・新規採用者や転入者に研修のアンケートを実施し、有効性(満足度)が7割以上	進捗 ・実践する中での課題が整理され、次年度に向けて改善ができている 成果 ・新規採用者や転入者に研修のアンケートを実施し、有効性(満足度)が8割以上				
	c. 研修の実施体制など人材育成の具体的な取組方法について、県教委等の関係機関との相互連携・補完体制を整える。	進捗 ・県教委と研修体制について協議する。	進捗 ①28年度から教育センターの研修が変更になるため特に27年8月中には県教育センターと協議する。 ②教育センターや人材開発センターで取得できない能力を身につけるための研修を企画する。 ③②で企画する研修のために必要なテキストを作成する。(作成済みのテキストやマニュアルを集め、活用できるものを選定する。)	進捗 ①8月には人材開発センター・教育センターでは習得できない能力・知識の一覧表を作成 ②秋研究大会で年次研修計画の提案説明 成果 ・事務研で実施する研修のテキストが整備でき、次年度以降に実施できるように準備ができていく	進捗 ①教育センターや人材開発センターで取得できない能力の研修を実施する。 ②集めたテキストを活用しながら、他に必要ない研修のテキストを作成する。(初任者にも使えるよう充実する) 成果 ・職位に応じた(初任者も含めた)研修のテキストが整備できている ・事務研で①の研修を実施し、有効性(満足度)が7割以上	進捗 ・31年度から教育センターの研修が変更になるため30年8月までに希望をまとめる。 成果 ・事務研で①の研修を実施し、有効性(満足度)8割以上					
		②効果的かつ確実に研修を受講する。	進捗 ・既存のカードの活用を啓発する。 成果 ・カードの記入者9割 ・共同実施組織内での研修報告6割 ・共同実施組織内での人材開発・教育センター受講状況の確認8割	進捗 ・新研修履歴カードの作成をする。(28年度以降の教育センター研修を盛り込む)(共同実施組織で確認する等活用する仕組みを考慮する) 成果 ・カードの記入者約10割 ・共同実施組織内での研修報告7割 ・共同実施組織内での人材開発・教育センター受講状況の確認9割	進捗 ①新研修履歴カードの作成をし、共同実施組織で確認できるように共同実施ガイドに入れたら(仕組みづくりとの連携) ②1月全員研修会で提案説明 成果 ・各自の研修計画と振り返りが共同実施組織内でできている6割 ・共同実施組織内での研修報告10割	進捗 ・31年度以降の研修履歴カードの作成をする。 成果 ・各自の研修計画が共同実施組織内でできている7割 ・共同実施組織内での研修報告10割	進捗 ・各自の研修計画が共同実施組織内でできている8割 ・共同実施組織内での研修報告10割				